

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公開番号】特開2018-196502(P2018-196502A)

【公開日】平成30年12月13日(2018.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2018-048

【出願番号】特願2017-101878(P2017-101878)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、
 遊技者の動作を検出可能な検出手段と、
 前記検出手段に関する演出として少なくとも第 1 演出と第 2 演出とを実行可能な演出実行手段と、
 を備え、
 前記検出手段は、第 1 検出手段と、該第 1 検出手段とは異なる第 2 検出手段と、を含み、
 前記演出実行手段は、

前記第 1 検出手段に関する演出として第 1 演出及び第 2 演出を実行可能であり、

前記第 2 検出手段に関する演出として第 1 演出及び第 2 演出を実行可能であり、

前記第 1 検出手段に関する第 1 演出は、前記第 2 検出手段に関する第 1 演出と異なる演出態様であり、

前記第 1 検出手段に関する第 2 演出は、前記第 2 検出手段に関する第 2 演出と異なる演出態様である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、本発明の請求項 1 に記載の遊技機は、

遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、

遊技者の動作を検出可能な検出手段と、

前記検出手段に関する演出として少なくとも第 1 演出（例えば、プッシュボタンの画像表示）と第 2 演出（例えば、プッシュボタンの操作を促すメッセージの表示）とを実行可能な演出実行手段と、

を備え、

前記検出手段は、第 1 検出手段（例えば、第 1 プッシュボタン 3 1 B）と、該第 1 検出手段とは異なる第 2 検出手段（例えば、第 2 プッシュボタン 3 2）と、を含み、

前記演出実行手段は、

前記第 1 検出手段に関する演出として第 1 演出及び第 2 演出を実行可能であり（例えば、演出制御用 CPU 1 2 0 が第 1 プッシュボタン 3 1 B の画像表示と第 1 プッシュボタン 3 1 B の操作を促すメッセージの表示を実行する部分）、

前記第 2 検出手段に関する演出として第 1 演出及び第 2 演出を実行可能であり（例えば、演出制御用 CPU 1 2 0 が第 2 プッシュボタン 3 2 の画像表示と第 2 プッシュボタン 3 2 の操作を促すメッセージの表示を実行する部分）、

前記第 1 検出手段に関する第 1 演出は、前記第 2 検出手段に関する第 1 演出と異なる演出態様であり（例えば、第 1 プッシュボタン 3 1 B の画像表示を行う一方で第 2 プッシュボタン 3 2 の画像表示を行わない部分）、

前記第 1 検出手段に関する第 2 演出は、前記第 2 検出手段に関する第 2 演出と異なる演出態様である（例えば、第 1 プッシュボタン 3 1 B の操作を促すメッセージの表示を行う一方で第 2 プッシュボタン 3 2 の操作を促すメッセージの表示を行わない部分）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、演出効果を高めることができる。

尚、第 1 検出手段に関する第 1 演出が第 2 検出手段に関する第 1 演出よりも演出強度が強いことや、第 1 検出手段に関する第 2 演出が第 2 検出手段に関する第 2 演出よりも演出強度が強いことには、第 2 検出手段に関する第 1 演出や第 2 検出手段に関する第 2 演出を実行しないことも含まれる。